

知ってた!? 隠れたまちの アレコレ

市内の知られざるスポット
を調査してきました

Vol.
11

日時計が教えてくれるもの

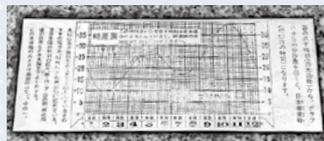
今年は、地球が太陽の周りを回る周期によって生じる季節と暦のずれを補正する「うるう年」。そこで今回は、「時と天体」にまつわるものとして「日時計」があるスポットをご紹介します。どうやら日時計で知ることができるのは、時だけではないようです。



精密さが美しい 市制100周年記念時計

人類最古の時計は、地面に棒を立て、その影の長さや位置で時を知る日時計だったといわれています。台原森林公園内に設置されているのは、三角形の指針（ノモン）の影が落ちる下の文字盤で時刻を読み取る水平型の日時計。平成元年に、本市の市制100周年と政令指定都市への移行を記念して、民間団体より寄贈されました。

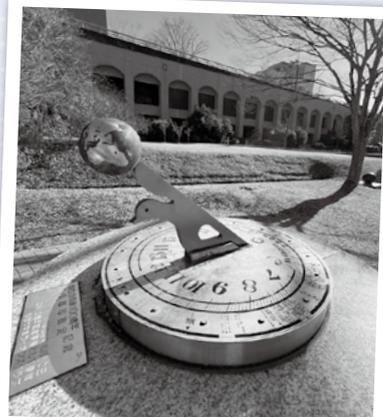
時刻の正確さもさることながら、方角やその先にある都市、山岳の名称等が刻まれた文字盤など、細部まで作り込まれているのが特徴です。ぜひ、晴れた日に立ち寄って、じっくりとご覧になってみてください。



▲日時計の時差表グラフ。横軸の日付とグラフの曲線を出した時差を、日時計の時刻から足し引きすることで、より正確な時間が計算できます



地下鉄旭ヶ丘駅から徒歩2分



ノモンの先端の地球儀では、日時計を見ているその時刻に、太陽が地球をどう照らしているかが分かります



十字のシンプルな構造が特徴。日時計であることを知らなかった方も多いのでは？



▲凹型の目盛りには刻まれた数字に、手前の銀の棒の影が落ちて時を示します



地下鉄大町西公園駅から徒歩4分

緑の復興の志をたたえる日時計



西公園の旧・仙台市天文台の跡地にたたずむこの日時計は、昭和49年に設置されました。日時計の裏側の碑には、戦後荒廃した仙台の街に緑を呼び戻そうと、西公園や仙台北城跡一帯に植える桜の樹約300本を個人が市に寄贈したこと、その功績をたたえ、地元の有志で日時計を設置したことが記されています。

いまや、春には多くの人々が西公園の桜の下に集う姿が見られます。時も、人の思いも形のないものですが、仙台のまちを思うその志は、重ねていく時とともに未来へ引き継がれてほしい…。日時計には、そんな願いが込められているのかもしれない。

食べる力を育む

せんだいレシピ帖

閩農政企画課
☎214・8266

セリのさっぱり和サラダ



仙台産のセリを使用したサラダのレシピです。和の食材とドレッシングに、油揚げと柿の種を加えることで食感と香りも楽しめます。

材料（3～4人分）

セリ	… 1束
長ネギ	… 1/3本
油揚げ	… 1枚
絹豆腐	… 1丁
☆しょうゆ	…大さじ1と1/2
☆みりん	… 大さじ1
☆酢	大さじ1と1/2
☆ごま油	…小さじ2
☆ショウガのみじん切り	…10グラム
柿の種	…1袋（30グラム）

作り方

- セリは水でさっと洗ってから根元を切り落とし、5～6cmの長さに切る。長ネギは縦半分の斜め薄切りにし、セリと合わせて5分ほど水にさらし、水気をよく切る
- 小さめのフライパンに油揚げを入れて中火にかけ、両面をこんがり焼き、キッチンペーパーの上に取り出す。粗熱がとれたら、ひと口大に切る
- ☆の材料をよく混ぜ合わせ、ドレッシングをつくる
- ①と②を合わせて3分の1を器に盛り、その上に水気を切った豆腐をのせる。残り3分の2をさらに上に盛り付ける
- 柿の種を粗めにつぶしてトッピングし、③をかける

食育
Point

地元の野菜のおいしさを、さまざまな形で楽しみましょう